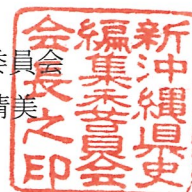


令和7年12月16日

沖縄県教育委員会 殿

新沖縄県史編集委員会
会長 宮城 晴美



新沖縄県史編集基本計画（案）について（答申）

令和7年8月26日付沖縄県教育委員会諮問第4号により諮問を受けた標記のことについて、別紙のとおり審議結果がまとまりましたので、付帯意見とともに答申します。

新沖縄県史編集基本計画（答申）

1. 事業の目的

沖縄県にかかわるすべての歴史を対象とする体系的な歴史書を編集し、先人たちの多様な歩み・成果を現在および未来の人々のために基礎資料として提供する。そのことにより、沖縄県における歴史認識、文化意識の一層の活性化を促すことを目的とする。

2. 事業の方針

過去の編集事業の成果や問題点を正しくふまえ、沖縄という地域にふさわしい独自の新たな歴史編集事業の推進を図る。

- (1) 全時代を対象とするとともに、多様な分野について取り扱う。
- (2) 沖縄県の歴史に関する資料の収集と普及の充実をはかる。
- (3) 島嶼県であるという地域特性をふまえつつ、県内の地域性にも配慮する。
- (4) 開拓が遅れている諸分野（女性史・技術史・および戦後史）を積極的に取り扱う。
- (5) 事業の成果を広く普及するための諸活動を積極的におこなう。
- (6) 内外の関係機関・研究者との間に積極的な連携を維持するとともに、事業推進に不可欠な事務局機能の強化をはかりつつ推進する。

3. 事業の内容

事業の方針をふまえ、これを具体化するために以下の諸事業をおこなう。

(1) 「沖縄県史」シリーズの刊行

本編に相当し、通史編・各論編・図説編・辞典編・索引編の5種類の書籍を刊行する。

(2) 「沖縄県史資料編」シリーズの刊行

沖縄県史に関する未公刊資料あるいは希少文献等を刊行し、基礎的情報を整備する。

(3) 「沖縄県史普及本」シリーズの刊行

沖縄県の歴史について、広く内外に普及をはかるために次の普及書を刊行する。

①「概説書」

1冊にまとめられた沖縄県史の概説書を刊行し、適宜改訂を加える。

英語・中国語・スペイン語・ハングル語訳の外国語版も刊行する。

必要に応じ他の外国語版も刊行する。

②「ビジュアル版 沖縄の歴史」シリーズ

各時代や分野の主要な題材を特集し、写真・図を中心とした内容のビジュアル版をシリーズで刊行する。

③「揭示資料版 沖縄の歴史」シリーズ

各時代や分野の主要な題材を特集し、写真・図を中心とした内容の揭示型のポスターを刊行する。

④「映像版 沖縄の歴史」シリーズ

ビデオ等の映像版の制作を検討する。

(4) 沖縄の歴史に関する情報の蓄積・活用

沖縄県史に関する史料・編集物等をコンピュータ処理によって保存するとともに、インターネットな

どマルチメディアを駆使して、多様な需要に答える歴史情報の提供を行う。

(5) 調査・研究の推進

編集事業にかかわる調査・研究を積極的におこない、その成果を提示するために研究紀要の発行、研究会・講座・講演会・シンポジウムなどを開催する。

4. 刊行物の内容および構成

(1) 「沖縄県史」シリーズ

(※◎印は既刊を示す)

① 通史編 1冊

② 各論編

① 自然環境編	1冊	◎
② 考古編	1冊	◎
③ 古琉球編	1冊	◎
④ 近世編	1冊	◎
⑤ 近代編	1冊	◎
⑥ 沖縄戦編	1冊	◎
⑦ 現代編	1冊	◎
⑧ 女性史編	1冊	◎
⑨ 民俗編	1冊	◎
⑩ 言語編	1冊	
⑪ 芸能編	1冊	
⑫ 文学編	1冊	
⑬ 対外関係史編	1冊	
⑭ 建築土木編	1冊	
⑮ 思想史編	1冊	
⑯ 産業経済編	1冊	
⑰ 医療福祉衛生編	1冊	

③ 図説編

4冊	① 県土のすがた	1冊	◎
	② 前近代	1冊	◎
	③ 近現代	1冊	
	④ 美術工芸	1冊	

④ 事典編・索引編 1冊

(2) 「沖縄県史資料編」シリーズ

沖縄県史に関する資料のうち、未公刊のものあるいは聞き取り資料および希少文献等を刊行する。
予算と事務局体制の事情により随時見直す。

(3) 「沖縄県史普及本」シリーズ

- ① 概説書：「沖縄－自然・歴史・文化・社会」の日本語版の刊行。

同書の外国語版の刊行。

必要に応じ適宜改訂をおこなう。

② ビジュアル版：「沖縄の歴史」シリーズ

各時代や分野のおもなことがらを、写真・図などを中心とした読みやすく、理解しやすい冊子にする。
英語を付すように努める。

③ 掲示資料版：「沖縄の歴史」シリーズ

児童生徒を対象として、沖縄県史の主な題材について、理解しやすい内容と表現によるポスターを編集する。

④ 映像版：「沖縄の歴史」

ビデオ等の映像版の製作を検討する。

⑤ 沖縄県史デジタル情報

沖縄県史に関する情報を、広く内外に提供できるようなデジタルアーカイブを開設し、運用する。

* 予算と事務局体制の事情により随時見直す。

(4) 「研究紀要」等

編集事務局・編集委員・専門部委員等による沖縄県史に関する調査研究の成果を「紀要」等によって刊行。

5. 刊行計画

第1次刊行計画（平成5年～平成19年）

第2次刊行計画（平成20年～平成29年）

第3次刊行計画（平成30年～令和9年）

令和10年から令和19年までの第4次刊行計画を次の通りとする。但し予算措置などの諸事情により見直しの必要が生じた場合は適宜検討する。

令和20年から令和29年までの第5次刊行計画については、引き続き検討する。

新 沖 縄 県 史 刊 行 計 画

注：刊行計画は予算等の事情により随時見直す。

○印－その年度に刊行する。○ひとつが1冊。

刊行物の種類	第1次 刊行計画	第2次 刊行計画	第3次刊行計画									
	1993年 ～2007年	2008年 ～2017年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	平成5年 ～19年	平成20年 ～29年	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
通 史 編												
各 論 編	2	5		○ 民俗			○ 現代				○ 言語	
図 説 編	1		○ 前近代									
資 料 編	21	4				○						
普 及 版	概説書（日文）	1										
	概説書（英文）											
	概説書（中文）											
	概説書（西文）											
	概説書（ハングル）											
	ビジュアル版	13								○		
	揭示資料	2										
デジタルアーカイブ												

刊行物の種類	第4次刊行計画										第5次 刊行計画
	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038年 ～2047年
	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	令和20年 ～29年
通 史 編											ひきつづき 検討する
各 論 編	○ 芸能		○ 文学				○ 対外 関係史		○ 建築 土木		
図 説 編					○ 近現代						
資 料 編		○									
普 及 版	概説書（日文）										
	概説書（英文）										
	概説書（中文）										
	概説書（西文）										
	概説書（ハングル）										
	ビジュアル版					○					
	揭示資料										
デジタルアーカイブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

*第4次刊行計画では、各論編「芸能」「文学」「対外関係史」「建築土木」、図説編「近現代」を刊行する

*資料編・ビジュアル版は1冊以上刊行する。

「新沖縄県史編集基本計画」（答申）の要点

「新沖縄県史編集基本計画の改正」にあたっては、刊行物の構成等を検討し、適正な刊行をめざし、下記の通り答申する。

- (1) 「沖縄県教育委員会諮問第4号」の要点(1)～(4)を反映させ、新沖縄県史編集基本計画を見直した形とする。
- (2) 但し、下記の付帯意見を継続審議とする。

【付帯意見】

『沖縄県史』シリーズのより一層の充実を図るため、「各論編 教育」「各論 移民・出稼ぎ編」の2冊を加えるべきである。第4次刊行計画の早い段階から、第5次刊行計画以降に加えることを検討するよう意見を付す。

各論編 教育	「教育」は、その社会の知識、文化等あらゆる社会の遺産を次世代へと継承していくものであり、その意味で単なる分野史に止まるものではなく、沖縄社会の主要な課題と深く結びついている。前回の「沖縄県史 教育編」（1966年）刊行から約60年が経過し、貧困と教育等、新たなテーマの研究も進展している。教育行政記録とは異なる「県史 教育編」の編纂は、沖縄社会の未来への指針としても必要である。
各論編 移民・出 稼ぎ	移民・出稼ぎが盛んであった沖縄にとって、必要な巻である。「沖縄県史 移民編」（1974年）はその時の最新研究であったが、その後の市町村史移民編の蓄積や現在の移民研究を反映した新たな「県史 移民編」の編集が必要である。

沖縄県教育委員会諮問第4号の要点

(1) 「新沖縄県史編集基本計画」

4. 刊行物の内容および構成(1)『沖縄県史』シリーズの見直し

①通史編 2冊→通史編 1冊

②図説編 5冊→図説編 4冊

(2) 新沖縄県史刊行計画（第3次）の一部見直し

2020年以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、刊行計画に一部遅れが生じているため、「各論 芸能」（2025年度刊行予定）、「図説編 近現代」（2027年度刊行予定）の2冊を、第4次刊行計画へ繰り延べる。

(3) 新沖縄県史刊行計画（第4次）の刊行物、および刊行順について

①第4次刊行計画の刊行物、刊行順については上記（2）及び研究状況等を鑑み、別表の通りとする。

②計画表の「資料編・ビジュアル版には随時刊行する」は、「期間内に各1冊以上刊行」とする。

(4) 「新沖縄県史編集基本計画」4. 刊行物の内容および構成

(3)「沖縄県史普及本シリーズ」⑤沖縄県史デジタル情報 について

近年の「デジタルアーカイブ」の重要性をふまえ、デジタルアーカイブを開設し、運用する。

【別表】第4次刊行計画 2028年度（令和10）～2037年度（令和19）

年度	刊行物
2028（令和10）	各論編 11 芸能
2029（令和11）	資料編 28 ベッテルハイム日誌および公式書簡 part II 1852-54 近世 6
2030（令和12）	各論編 12 文学
2031（令和13）	
2032（令和14）	図説編 近現代
2033（令和15）	ビジュアル版
2034（令和16）	各論編 対外関係史
2035（令和17）	
2036（令和18）	各論編 建築土木
2037（令和19）	